

平成 28 年度 決算概要について

1. 資金収支計算書

収入の部

学生生徒等納付金収入は、当年度東京医療学院大学において看護学科を開設したため 1 学年増え、前年の 1,322,500 千円に対し、当年度 1,527,360 千円と 204,860 千円の増額になっております。

支出の部

人件費支出について、前年度 886,924 千円に対し、当年度 1,026,011 千円と 139,087 千円の増額となっており、主な要因としては看護学科開設による人員増によるものとなっております。

教育研究経費支出について、前年度 323,802 千円に対し、当年度 331,765 千円と 7,963 千円の増額となっております。

管理経費支出について、前年 99,427 千円に対し、当年度 130,433 千円と 31,006 千円の増額となっており、主な要因が三つあります。第一に、法人全体の借入金の借り換えに係る諸経費 4,754 千円、第二に、リハビリテーション学科収容定員増計画に係るコンサルタント料 5,205 千円、第三に、法人本部、大学および専門学校において派遣職員を採用したことによる経費 17,122 千円を計上していることがあげられます。

2. 事業活動収支計算書

収入の部

平成 28 年度の事業活動収入は特別収入の部の現物寄附金については、東京医療学院大学で教育研究機器備品として絵画など 88,184 千円、及び図書 1,009 千円、東京医療福祉専門学校で図書 1,035 千円及び専門学校東京医療学院で図書 138 千円の寄付を受けております。

支出の部

建物等解体撤去費 1,121 千円は、専門学校東京医療学院の空調機更新工事に伴う解体費用等によるものとなっております。

3. 貸借対照表について

平成 28 年度固定資産の主な増加について、東京医療学院大学において西棟増築部に係る教室什器類 105,330 千円および ICT 機器類 38,809 千円を取得、また印刷機等 9,370 千円を取得し、教育研究機器備品に計上しております。

また、専門学校東京医療学院において平成 29 年 3 月に空調機更新を行い 16,159 千円計上しております。

流動資産の現金預金が若干減少しておりますが、当年度東京医療学院大学において看護学科を開設による経費増によるものです。

前払金の主な内訳は、学生実習時の宿泊施設の利用料前払金 9,324 千円です。

負債の部の主な要因は、前出の大学の教室什器類などの教育研究機器備品取得に係る長期未払金の計上によるものです。